

様式ア（普及技術）
分類名 [草地飼料]

イタリアンライグラス奨励品種「タチムシャ」「タチサカエ」

畜産試験場

1 取り上げた理由

イタリアンライグラスの中生品種「タチムシャ」「タチサカエ」が最近の試験成績から高位生産が期待できると認められたので、普及技術とする。

2 普及技術

- 1) 「タチムシャ（雪印種苗(株)育成）」の品種特性は以下のとおりである
 - a 早晚生の区分としては中生の2倍体品種。
 - b 直立型で草丈が高いが、耐倒伏性に優れている。
 - c 標準品種「ドライアン」と比較して収量性がやや優れている。
 - d 収穫時の水分含有率が低い。

- 2) 「タチサカエ（タキイ種苗(株)育成）」の品種特性は以下のとおりである
 - a 早晚生の区分としては中生の4倍体品種。
 - b 標準品種「ドライアン」と比較して収量性が優れている。
 - c 標準品種「ドライアン」と比較して収穫時の水分含有率が高い。
 - d 再生力が強く、2番草以降の収量も標準品種「ドライアン」と比べ優れている。

3 利活用の留意点

- 1) 栽培管理については牧草・飼料作物（県奨励品種）の栽培の手引を基本とすること。
- 2) 品種の選択にあたっては、品種の特徴を踏まえ、収量性や作業性・ほ場条件等を勘案して行なうこと。



図1 タチムシャ（写真提供：雪印種苗(株)） 図2 タチサカエ（写真提供：タキイ種苗(株)）

（問い合わせ先：畜産試験場草地飼料部 電話：0229-72-3101）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

牧草系統適応性検定試験（平成18年度～21年度）

2) 参考データ

表1 生育特性（3年間平均）

品種名	発芽の 良否 ^{注1}	定着時 草勢 ^{注1}	越冬性 ^{注1}	出穂始 (1番草)	病虫害 ^{注2} (1番草)	倒伏 ^{注2} (1番草)	草丈 cm (1番草)
タチムシャ	4.8	5.2	6.1	5/4	1.5	2.0	117.7
タチサカエ	5.5	6.1	7.0	5/7	1.5	3.1	118.5
ドライアン(標準品種)	4.6	4.8	5.4	5/4	1.5	1.8	103.8

(注1) 発芽の良否・定着時草勢・越冬性の評価法：極良を9，極不良を1とする評価法

(注2) 病虫害・倒伏：無を1，甚を9とする評価法

表2 番草別生草収量及び乾物率

品種名	番草別生草収量 (3年間平均 kg/a)				季節別乾物率 (3年間平均、%)			
	1番草	2番草	3番草	年計	1番草	2番草	3番草	年計
タチムシャ	609.8 (115)	218.6 (101)	95.1 (90)	891.9 (109)	16.2 (101)	15.6 (100)	17.2 (99)	16.1 (100)
タチサカエ	724.8 (136)	327.9 (152)	198.8 (189)	1,185.2 (145)	14.1 (88)	13.0 (83)	13.1 (76)	13.7 (85)
ドライアン(標準品種)	531.9	215.6	105.2	817.7	16.1	15.7	17.3	16.1

※ () 内は標準品種（ドライアン）を100とした値

※刈取回数：H19：5/11～7/6に3回，H20：5/12～6/10に2回，H21：5/7～7/3に3回

表3 年度別及び番草別乾物収量

品種名	年次別合計乾物収量 (kg/a)				番草別乾物収量 (3年間平均 kg/a)			
	H19年	H20年	H21年	3年平均	1番草	2番草	3番草	年平均
タチムシャ	162.7 (111)	110.0 (101)	158.7 (114)	143.8 (109)	98.7 (115)	34.2 (101)	16.3 (90)	143.8 (109)
タチサカエ	184.8 (126)	137.5 (127)	163.7 (117)	162.0 (123)	102.0 (119)	42.6 (126)	26.0 (143)	162.0 (123)
ドライアン(標準品種)	146.6	108.5	139.5	131.5	85.5	33.8	18.2	131.5

※ () 内は標準品種（ドライアン）を100とした値。

※刈取回数：H19：5/11～7/6に3回，H20：5/12～6/10に2回，H21：5/7～7/3に3回

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし